

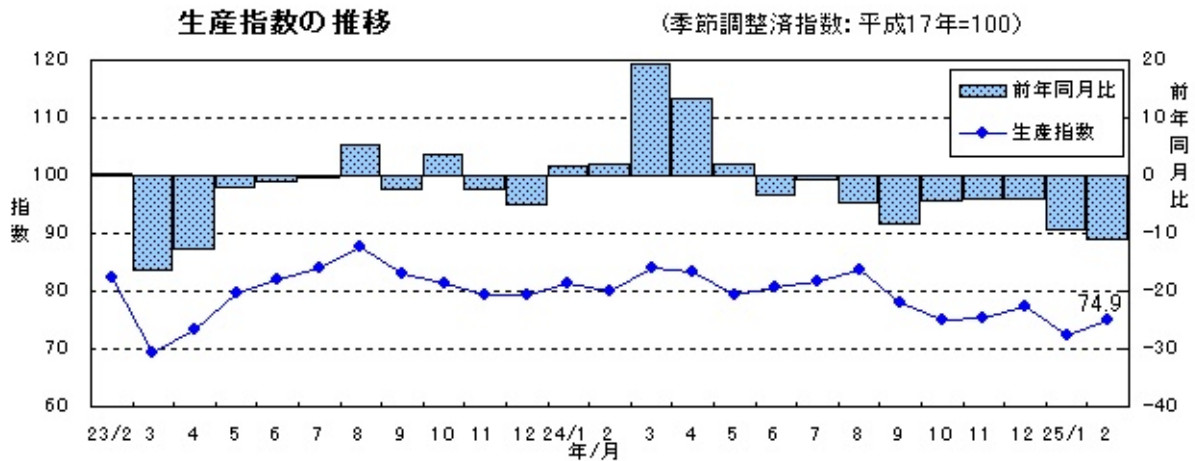
静岡県鉱工業指数 (平成25年2月分速報)

1 生産指数の動き

2月の鉱工業**生産指数**（季節調整済：平成17年=100）は**74.9**であった。

前月比（季節調整済指数）は**3.5%増**と**2か月ぶりに上昇**した。また、**前年同月比**（原指数）は**10.9%減**と**9か月連続して前年を下回った**。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、電気機械、化学、食料品・たばこ等が上昇する一方、一般機械、鉄鋼業、精密機械等が低下した。

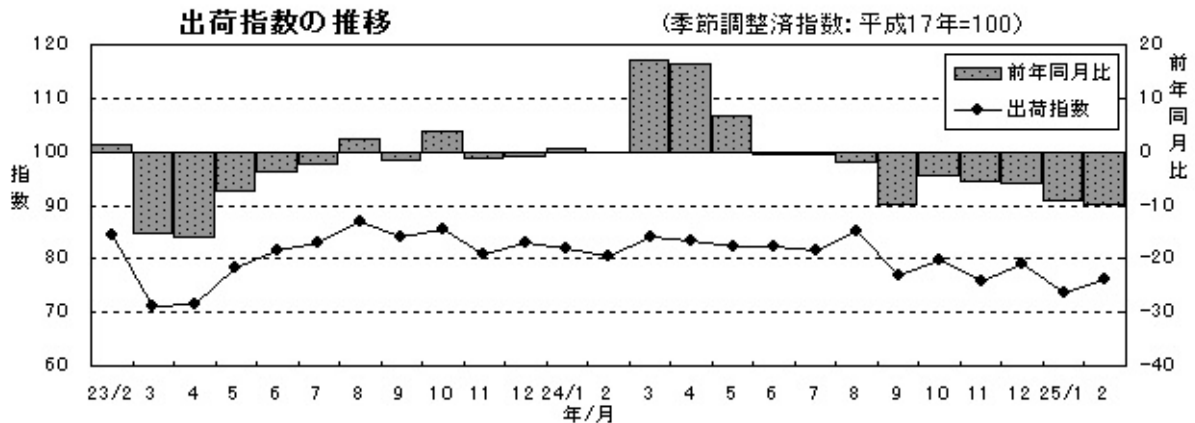


2 出荷指数の動き

2月の鉱工業**出荷指数**（季節調整済：平成17年=100）は**76.2**であった。

前月比（季節調整済指数）は**3.7%増**と**2か月ぶりに上昇**した。また、**前年同月比**（原指数）は**9.7%減**と**9か月連続して前年を下回った**。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、電気機械、非鉄金属、化学等が上昇する一方、精密機械、食料品・たばこ、一般機械等が低下した。

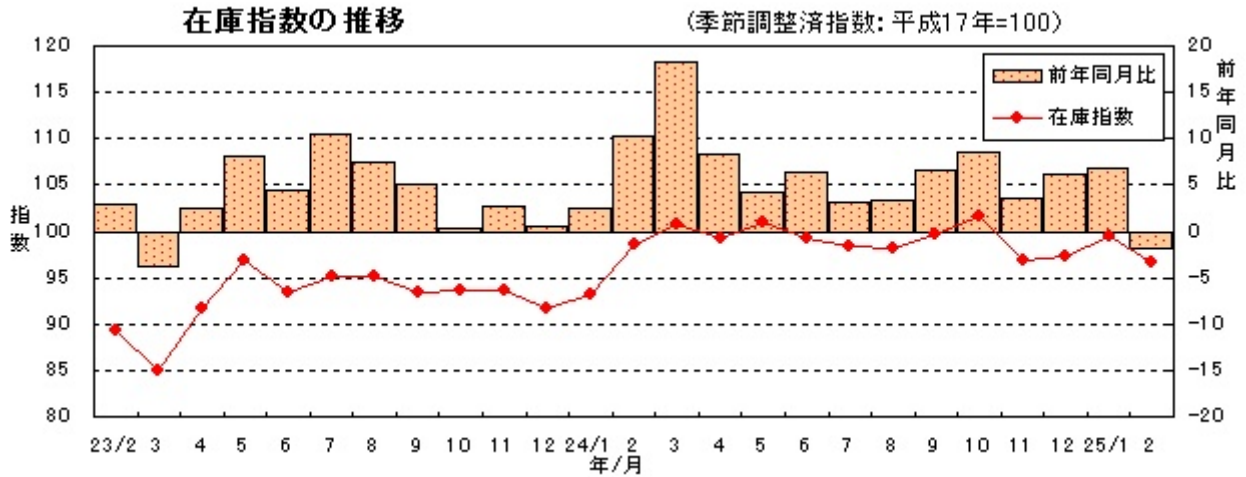


3 在庫指数の動き

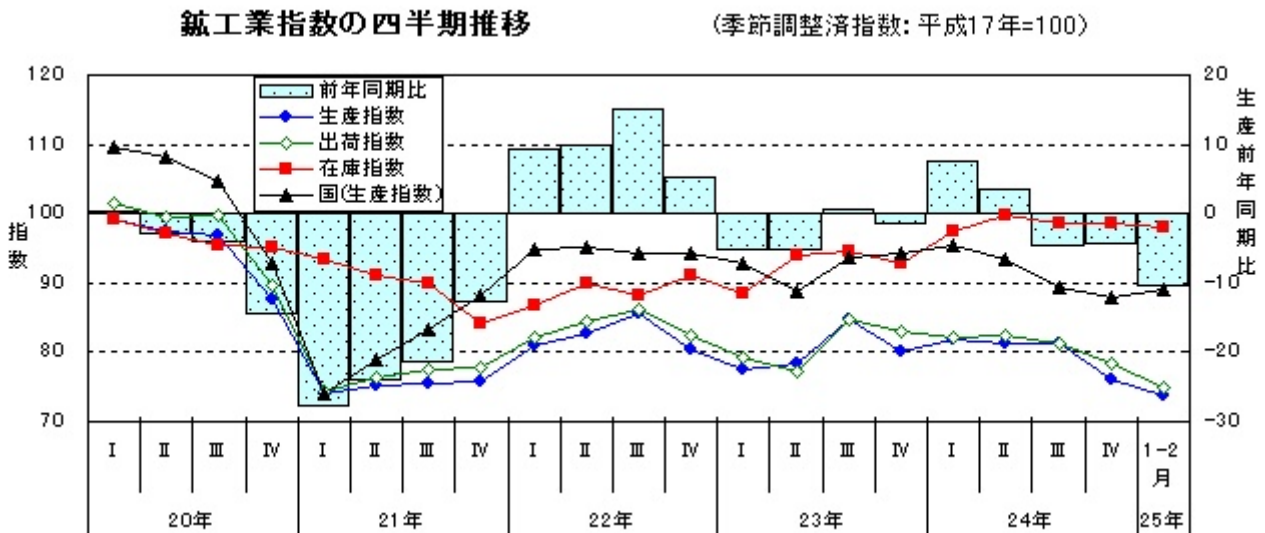
2月の鉱工業**在庫指数**（季節調整済：平成17年=100）は**96.6**であった。

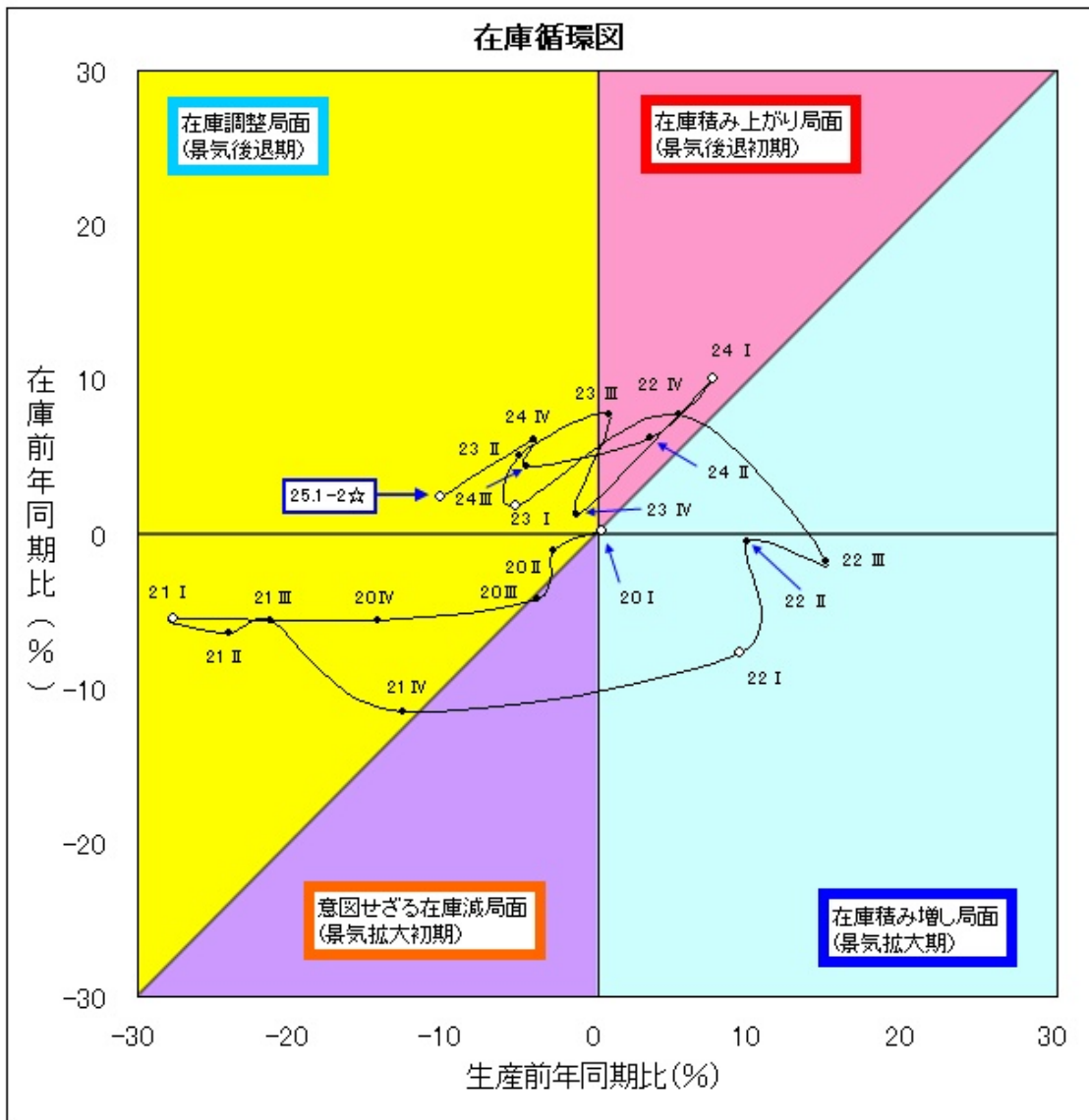
前月比（季節調整済指数）は**2.8%減**と**3か月ぶりに低下**した。また、**前年同月比**（原指数）は**1.8%減**と**23か月ぶりに前年を下回った**。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、金属製品、輸送機械、繊維等が上昇する一方、化学、電気機械、食料品・たばこ等が低下した。



<参考>





- ・ **在庫積み増し局面 (景気拡大期)**

需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。

- ・ **在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**

供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。

- ★ **在庫調整局面 (景気後退期) ← 1-2月はここに該当**

適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。

- ・ **意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)**

需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。